一橋大学大学院社会学研究科
修士課程 学生募集（春期）要項一式

１．募集要項
２．演習担当教員一覧
３．研究計画書
４．提出物チェックリスト
５．外国からの出願方法について

以上の書類を掲載しておりますので、ご確認ください。

※ 来年度の授業科目・担当教員については、一部変更することがあります。

※ 災害等で被害に遭われた大学院受験者の方には、検定料免除の措置があります。詳細については一橋大学ホームページ（https://www.hit-u.ac.jp/）の ホーム＞ 一橋大学で学びたい方へ＞ 大学院入試の検定料について にてご確認ください。

【注意】 9 月の修士課程入学試験（秋期一般選考）とは試験方法が異なり、第 1 次試験は書類選考ですので、過去問題はありません。

一橋大学大学院社会学研究科事務室
〒186-8601 東京都国立市中 2－1
E-mail：info@soc.hit-u.ac.jp

入試番号　SM04

2027 年度　一橋大学大学院社会学研究科
修士課程学生募集(春期)要項

社会学研究科は、社会科学の分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と学識ある高度な専門的職業人を育成することを目的としています。研究科には以下の２つの専攻が設けられており、受験生は希望する指導教員が募集している専攻に応じて、いずれかに属します。総合社会科学専攻では、社会科学の各専門分野の学術的な探究とその総合的な発展を担う意欲と創造性を具えた人材の育成をめざします。地球社会研究専攻では、地球規模の諸課題に対して、学際的かつ創造的に取り組み、実践的な解決を志向する人材の育成をめざします。

・修士課程は、社会科学の幅広い知識と深い問題意識によって支えられた研究基盤と高度な実践能力を具えた人材を育成することを目的としています。両専攻共に、(1) 修士課程を修了した後その知見を生かして高度な専門的職業人をめざす方、(2) 博士後期課程への進学を希望する方、のいずれも歓迎します。

・修士課程の入学試験は両専攻共に、２回実施します。９月の秋期一般選考では、特別選抜とあわせて、総合社会科学専攻 50 名、地球社会研究専攻 15 名を、２月の春期一般選考では総合社会科学専攻 20 名、地球社会研究専攻５名を定員とします。特別選抜では成績評価と出願書類の内容を、秋期一般選考では筆記試験の結果を、春期一般選考では卒業論文の内容を含めて、総合的に審査します。

１．募集人員

総合社会科学専攻　20 名
地球社会研究専攻　５名

２．アドミッション・ポリシー

一橋大学大学院社会学研究科では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力のある専門人、理性ある革新者、指導力のある政治経済人を育成するという本学が掲げる理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

１．求める学生像

一橋大学大学院社会学研究科は、多彩に広がる社会科学及び人文科学の諸分野において、専門性と総合性を併せ持つ研究者と学識ある高度専門職業人とを育成し、現代社会の諸課題に対し多様な視点から知的に対応する創造力豊かな担い手を育てます。この理念の実現に向けて、本研究科には、総合社会科学専攻と地球社会研究専攻という二つの専攻が置かれています。

総合社会科学専攻は、各専門分野における学術探究とその総合的発展を担う意欲と創造性と研究能力を備えた人材の育成をめざします。地球社会研究専攻は、問題に焦点をあてる、解決を志向する、西欧中心思想を脱する、という理念のもとで、地球規模の諸課題に対して創造的・実践的に取り組む人材の育成をめざします。

このため、本研究科は、国内外を問わず、次のような人材を広く求めています。

・　各分野において学術研究を遂行していくことを可能にする高度な知的基盤を有し、自立的に学問世界を究めていく意欲と粘り強さを備えた方
・　領域を横断しながら新しい知の世界を切り開く冒険心と課題設定力をもち、大学院での学修を支える幅広い知識と十分な学力を有している方
・　社会の実践的課題の解決に向けて自らの問題関心や経験を学問的に深めていく目的意識をもち、大学院で専門教育を受けるのに必要な知識と十分な学力を有している方

２．入学者選抜の基本方針及び多面的・総合的な評価方法

上記の能力を備えた学生を選抜するため、本研究科では以下のとおり多様な入学者選抜を実施します。

修士課程

一橋大学大学院社会学研究科では、総合社会科学専攻と地球社会研究専攻の両専攻で共通の以下のような入試を実施します。まず、両専攻で一般選考を秋期（９月）と春期（２月）の二回、実施します。秋期一般選考の一次選考では、研究分野ごとに出題された主論文・副論文を解答する論文筆記試験を実施するとともに、研究計画書等の書類審査による選抜を行います。二次選考では、一次選考の合格者に対して研究テーマの整合性、研究計画の独自性・論理性・実現可能性、研究テーマに必要な基礎知識を問う口述試験を実施します。選抜においては研究遂行に必要な語学力などを含めて、総合的に評価します。春期一般選考では、一次選考において卒業論文等の提出論文及び出願書類に基づき、審査を行います。二次選考では、秋期一般選考と同じ評価基準

で、口述試験を実施しています。
　これ以外に、秋期には、特別選抜と社会人特別選考の入試を実施します。特別選抜は、学士課程において専攻分野に関する体系的かつ専門的な教育を受け、卓越した成績を収めた学生を対象とする入試で、一般選考と同じ評価基準で、一次選考では研究計画書等の書類審査、二次選考では口述試験を実施しています。
　社会人特別選考は、社会人の経験を生かした学修研究の機会拡充（リカレント教育）に対する社会的要請に応えることを目的に実施する入試で、一般選考と同じ評価基準で、一次選考では研究計画書等の書類審査、二次選考では口述試験を実施しています。

３．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者および 2027 年３月までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第 104 条第７項により、学士の学位を授与された者および 2027 年３月までに学士の学位を授与される見込みの者
(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了し、B.A.または B.S.等を取得した者および 2027 年３月までに取得見込みの者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者および 2027 年３月までに修了見込みの者
(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたものまたはこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および 2027 年３月までに授与される見込みの者
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
(8) 文部科学大臣の指定した者
(9) 学校教育法第 102 条第２項（大学院への飛び入学）の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
(10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 才に達した者および 2027 年４月１日までに 22 才に達する者

注１　出願資格の（9）による志願者は、必ず 2026 年 11 月 20 日（金）までに社会学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。
注２　出願資格（10）による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査書類等を本要項の配布開始日から 2026 年 11 月 20 日（金）までの期間に配布しますので、社会学研究科事務室まで問い合わせてください。
　個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、2026 年 11 月９日（月）から 2026 年 11 月 20 日（金）までです。
　入学資格審査結果は 2026 年 12 月 11 日（金）頃に通知する予定です。

４．出願期間

WEB 出願ページでの出願登録期間および出願書類提出期間

2026 年 12 月 24 日（木）９時 00 分 ～ 2027 年１月８日（金）17 時 00 分　【必着】

５．出願手続

出願手続には、**「WEB 出願ページでの出願登録」、「出願書類の郵送」の両方が必要**です。

(1) WEB 出願ページでの出願登録

出願期間内に以下のウェブサイトにアクセスし、WEB 出願フォームに必要事項を入力してください。

https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nitj-lesbpe-12a462a4e9a4b5ff25cc8acbf8a25a2a

大学院 WEB 出願ページでの入力内容およびアップロードするファイルについて

① WEB 出願ページに掲載されている「大学院出願の流れ」を参照のうえ、ページ内の指示に従って入力を進めてください。
② WEB 出願フォーム「資格等」欄は入力不要です。
③ WEB 出願フォーム「研究題目」欄には、「**６．出願書類・検定料**」の「研究計画書」の研究題目と同じ内容を入力してください。
④ WEB 出願フォーム「特記事項１」欄には、「研究計画書」の希望する指導教員名と同じ教員名を入力してください。(「未定」は不可。)
⑤ WEB 出願フォーム「特記事項２」欄には、「研究計画書」の専攻と同じ専攻名を入力してください。(「総合社会科学」「地球社会研究」のいずれかを入力してください。)
⑥ WEB 出願フォーム「特記事項３」欄には、「研究計画書」の研究分野と同じ分野名を入力してください。(「社会学研究」「共生社会研究」「歴史社会文化研究」「超域社会研究」のいずれかを入力してください。)
⑦ 顔写真は、試験当日に本人確認のために使用します。試験実施時の確実な照合のために、画像が鮮明なものを用意してください。本人であることが確認できない場合には受験資格を失うことがあります。
⑧ WEB 出願フォームの「顔写真データアップロード」は必要ですが、「出願書類アップロード」は不要です。出願書類は郵送により提出してください。

(2) 出願書類の郵送

志願者は、「**６．出願書類・検定料**」の出願書類を一括し、封筒の表面に WEB 出願の「志願者個人ページ」から印刷した宛名ラベルを（入試名欄に「研究計画書」に記載した専攻名・分野名を追記のうえ）貼付して、**簡易書留郵便（郵便局窓口からの差出）**により、**〒186 - 8601 東京都国立市中２丁目１番地　一橋大学大学院社会学研究科事務室**　宛てに提出してください。**出願書類提出期間**は 2026 年 12 月 24 日（木）～ 2027 年１月８日（金）です。なお、2027 年１月８日（金）は 17 時 00 分必着です。

注１　出願期間を過ぎて着いたものについては、2027 年１月５日（火）以前の消印のあるものに限り受け付けます。
注２　出願者本人もしくは代理人が出願書類を直接持参しても一切受け付けません。
注３　外国からの出願を希望する場合は、この「**５．出願手続**」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

６．出願書類・検定料

【重要】研究計画書等の作成に当たっては、アドミッション・ポリシーをよく確認するとともに、自らの目標を達成する研究内容となっているか十分な検討を行い、自らの責任において作成したものを提出してください。

書　類　等	提出者	摘　　要
志　願　票	全　員	３通。 WEB 出願ページでの出願登録後に「志願者個人ページ」からダウンロードできる志願票をプリントアウトしたもの。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
研究計画書	全　員	３通。 １通は所定の用紙を用い、日本語で作成してください。他の２通はそれを複写してください。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
卒業論文等	全　員	２通。 卒業論文を複写したもの。ただし、卒業論文を提出せず、学士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、卒業論文に代わる論文１篇の複写２通。なお、卒業論文等の内容と修士課程での研究題目が大きく異なる場合は、卒業論文に加えて日本語または英語で作成した補充論文の提出を認めます（この場合も２通を提出してください）。なお、製本されていないものは１通ずつ綴じてください。
卒業論文等の要旨	全　員	３通。 上記に基づき提出する卒業論文等の要旨（日本語 4,000 字程度または英語 1,600 単語程度）。補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨３通（日本語 4,000 字程度または英語 1,600 単語程度）も提出してください。Ａ４判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名および氏名を明記してください。なお、１通ずつホチキス留めしてください。
卒業（見込）証明書等	全　員	１通。 出身大学の長が作成したもの。あるいは大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書または短期大学長もしくは高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書１通を提出してください。なお、本学卒業（見込）者は、成績証明書をもって代えます。
学位証明書等	外国学校出身者	１通。 出身大学の長または研究科長が作成したもの。 **外国学校出身者（「３．出願資格」の(3)(4)(6)による志願者）は、取得した学位（B.A.またはB.S.等）を明記した証明書１通を提出してください。**ただし、取得見込みの者は卒業見込証明書をもって代えます。 ※　**中国の大学を卒業した者**は、上記のほかに「中国高等教育学生信息網（学信網CHSI）」（https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgcx.jsp）からダウンロードした学歴認証報告書（Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate）および学位証明書（Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate）を印刷したものを各**１通**提出してください。
成績証明書	全　員	３通。 出身大学の長が作成したもの。原本１通、写し２通を提出してください。

書　類　等	提出者	摘　　要
在留カード等の写し	外国人志願者	１通。 在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。ただし、在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない者については、パスポートの写しを提出してください。
検　定　料 ３０，０００円	全　員	**出願期間内**に銀行振込、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより検定料 30,000 円を納付してください。 ※いずれの場合においても、振込手数料、支払手数料は各自で負担してください。 **〇銀行振込の場合** 三井住友銀行（みついすみともぎんこう）　国立支店（くにたちしてん）の 口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科（こくりつだいがくほうじんひとつばしだいがくしゃかいがくけんきゅうか）　検定料口（けんていりょうぐち） 口座番号：（普通預金）7761819 あてに検定料 30,000 円分を振り込み、**<u>その明細書等の写しをＡ４用紙に貼って出願書類と一緒に提出してください。</u>** **〇コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合** 本学の下記 WEB サイトから検定料支払サイトへアクセスし、事前申込の上、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードにより検定料を納付してください。 https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html 支払い後、コンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソンまたはミニストップ）決済の場合は、**<u>店舗で発行される「収納証明書」をＡ４用紙に貼って出願書類と一緒に提出してください。</u>**その他のコンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードの場合は、**<u>検定料支払サイトで申込内容照会結果から「収納証明書」を印刷し、A4 用紙に貼って出願書類と一緒に提出してください。</u>** ※　支払い方法の詳細は、上記本学 WEB サイトに掲載の「一橋大学大学院　検定料の支払方法」を参照してください。 ※　支払いサイトでの支払い手順等については、同サイトの「よくある質問（FAQ）」を確認の上、E-サービスサポートセンターに問い合わせてください。 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。
提　出　物 チェックリスト	全　員	１通。 所定の用紙（提出物チェックリスト）のチェック項目をすべて確認し、☑を入れてください。

注１　複数の大学を卒業（見込）または大学院を修了（見込）の場合は、すべての大学、大学院における「卒業または修了（見込）証明書」「成績証明書」を提出してください。
注２　提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。
注３　改姓・改名等により、提出する書類のなかで氏名の表記が複数ある場合は、同一人物であることを示す書類を添付して下さい。
注４　志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。
注５　出願書類および検定料は返却しません。また、「**６．出願書類・検定料**」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。
注６　出願に際し不正等があった場合には、入学許可後であっても、これを取り消します。

７．選考方法および選考基準

第１次試験では、卒業論文等の提出論文および出願書類に基づき、受験者の着想力や論点の展開力、論文の構成力・論証力等を基準に審査します。第１次試験の合格者に対して第２次試験を行います。

第２次試験では、面接による口述試験を行います。そこでは提出論文および出願書類にそって、専門領域の学力、研究計画の妥当性および実行可能性等を基準に審査します。併せて、受験者の研究に必要な語学力の試験を面接時に行います。ただし、研究課題との関係において、出願書類で記入した外国語の試験が適当でない場合には、他の外国語の試験、または日本語の史資料等についての読解試験を行うことがあります。第１次試験と第２次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

(1) 第１次試験（書類選考）

第１次試験合格者発表および第２次試験の試験室・時間割の発表

日　　時	発　表　方　法
2027 年１月 28 日（木） 13 時 00 分頃	社会学研究科ウェブサイトへの掲載

(2) 第２次試験（口述試験）

試験場　一橋大学（ＪＲ中央線　国立駅下車、南へ徒歩約 10 分）

試　験　日　時	試　験　科　目
2027 年２月２日（火） または 2027 年２月３日（水） ９時 00 分～18 時 00 分頃	専攻する研究内容について質疑応答を行い、研究の遂行に必要な語学力ないし史資料等の読解力試験も合わせて行います。 （１人 45 分程度。語学力試験ないし史資料読解力試験を含む。）

※ 第２次試験は開始５分前までに試験室へ来てください。試験の際には必ず受験票を持参してください。受験票は出願期間終了からおよそ２週間後に WEB 出願の「志願者個人ページ」から印刷できるようになります。

※ 第２次試験は指定された日時で必ず受験できるよう調整してください。

※ 不正行為を行った者または監督者の指示に従わなかった者は失格とします。

※ 試験当日、大学正門付近において合格者発表を通知するサービス等を行っている者がいる可能性がありますが、本学ではそのような取組みを行っておらず、本学とは一切関係ありません。なお、合格者発表については、研究科ごとにウェブサイト等にて行います。

(3) 配点（満点＝200 点）

第　１　次　試　験	書類選考 100 点
第　２　次　試　験	口述試験 100 点

８．合格者発表

日　　時	発　表　方　法
2027 年２月５日（金） 13 時 00 分頃	社会学研究科ウェブサイトへの掲載 （合格者には郵送にても通知します）

９．入学手続

(1) 入学手続期間・入学料の納入期間

2027 年２月 26 日（金）～ ３月５日（金）【予定】

所定の期間内に入学料の納入がない場合は入学辞退者として取り扱います。また、入学を辞退した場合など、いかなる理由があっても既納の入学料は返還しません。

(2) 入学料の納入額　　２８２,０００ 円

(注) 本学には入学料の免除・徴収猶予の制度があります。ただし、2027 年度入学者より、入学料の免除は日本人学生（「永住者」や「定住者」、「特別永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」の在留資格を有する者も含む）のみが対象となります。入学料の免除・徴収猶予を希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。

(3) その他

入学手続の詳細（入学料の納入方法等）については、２月下旬頃を目途に合格者に改めて郵送にて通知します。

授業料（年額535,800 円）については、入学後に納入することになります。納入時期・納入方法については改めて通知します。なお、学生納付金（入学料・授業料）は改定される場合があります。

10. 注意事項

（入試日程および内容等の変更について）

やむを得ない事由等により、入試日程および内容等を変更する可能性があります。その場合は、随時社会学研究科ウェブサイト等で案内します。

（専攻および研究分野について）

(1) 出願後の志望専攻の変更は認めません。

(2) 入学後に指導を希望する教員を 1 人選択して、選択した教員の担当する専攻・研究分野を WEB 出願フォームと研究計画書に明記してください（演習担当教員一覧参照）。入学後、この教員以外を指導教員（第一演習担当教員）として選ぶことは原則としてできませんので、志願する際は慎重に選択してください。

(3) 希望指導教員への事前相談は、出願期間の開始前であれば受け付けています。教員の連絡先については社会学研究科教員ページ（https://www.soc.hit-u.ac.jp/teaching_staff/）をご参照ください。メールアドレスが掲載されていない場合は、社会学研究科事務室までお問い合わせください。なお、以下の点についてあらかじめご留意ください。

・事前相談の有無は、選考の評価には影響いたしません。

・関心のある研究テーマについて指導が可能かどうか等のご相談は問題ありませんが、出願書類（特に研 究計画書）への具体的な指導は行いません。

（心身に障害を有する入学志願者の事前相談について）

本学では、障害等がある方の受験に対して合理的な配慮を行っています。障害等があり受験上配慮を希望する者は、社会学研究科の出願に先立ち、2026 年 11 月 20 日（金）までに、社会学研究科事務室に相談を申請してください。上記日以降にも相談申請を受け付けますが、その場合、受験上の配慮が間に合わないことがあります。

事前相談の申請は、本学への出願を義務付けるものではありません。本研究科への出願が未定であっても事前相談申請を受け付けております。

※希望する配慮内容によっては、回答に時間を要することがあります。

※修学上の配慮に関する相談窓口は以下のとおりです。

アクセシビリティ支援室

https://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shougai/shougaishien.html

（国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）について）

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、６月と 12 月（予定）に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。 ※６月は外国人留学生のみとなります。

日本人学生対象（日本への永住が許可されている者も含む）

https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html

外国人留学生対象（「留学」の在留資格を有する者または取得できる見込みの者）

https://international.hit-u.ac.jp/curr/accom/apply/

※学生区分により募集の資料の送付先や募集期間が異なります。

十分に注意して、上記のページから確認して下さい。

（その他）

(1) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

(2) 個人情報の取り扱いについては、WEB 出願ページ「個人情報の取り扱いについて」を参照してください。

WEB 出願ページでの「同意」がない場合、出願できません。

(3) 過去の入学志願者数・受験者数・合格者数及び入学者数については、社会学研究科ウェブサイト(https://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/result.html)に掲載しています。

11. 問い合わせ

(1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。

(2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q＆A」が用意されています。その他、出願手続等、入学試験に関する問い合わせは、住所、氏名を明記のうえ、書面または電子メールで行ってください。
https://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/faq.html

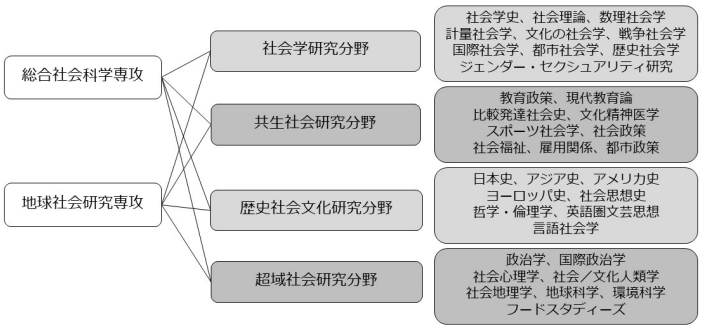
社会学研究科　電子メールアドレス	info@soc.hit-u.ac.jp
社会学研究科　ウェブサイト	https://www.soc.hit-u.ac.jp/

2027年度

一橋大学大学院社会学研究科

演習担当教員一覧(研究分野別)

(●は総合社会科学専攻担当の教員、○は地球社会研究専攻担当の教員、×は第一演習を担当しない教員、下線は当該分野を兼任する教員です。)



(社会学研究分野)

- ●菊谷和宏教授(社会学史、社会理論) fra
- ●佐藤圭一准教授(政治社会学、環境社会学 社会ネットワーク分析、計量社会学) eng, deu
- ●数土直紀教授(計量社会学、社会階層論) eng
- ●多田治教授(文化の社会学 社会理論、観光研究) eng
- ●林真人准教授(都市社会学、地域社会学、批判主義都市研究) eng
- ●根本雅也講師(質的調査法、歴史社会学) eng
- ○飯尾真貴子講師(国際社会学 国際移動研究、移民政策論) eng, spa
- ○竹中歩教授(国際人口移動、人種・エスニシティー、国際社会学、食のグローバル化、都市社会学、エスノグラフィー) eng, spa
- ○佐藤文香教授(ジェンダーの社会理論・社会学 軍隊・戦争の社会学) eng
- ○田中亜以子講師(ジェンダー・セクシュアリティ研究 歴史社会学) eng
- ●山田哲也教授(社会調査、教育社会学) eng
- ●西野史子教授(労働社会学、雇用システム論) eng
- ●松永伸太朗講師(労働社会学、労働過程論) eng
- ●坂なつこ教授(スポーツ・身体文化理論 スポーツ社会学) eng, deu

(共生社会研究分野)

- ●中田康彦教授(教育政策、教育計画論) eng
- ●山田哲也教授(現代教育論、教育問題の社会学) eng
- ●太田美幸教授(比較発達社会史 ノンフォーマル教育) swe
- ●坂なつこ教授(スポーツ社会学 スポーツ・レジャー文化研究) eng, deu
- ●鈴木直文教授(スポーツ社会学 都市政策・コミュニティ政策) eng
- ●鈴木楓太准教授(スポーツ社会学、スポーツ史) eng
- ●猪飼周平教授(社会政策、社会福祉) eng
- ●白瀬由美香教授(社会福祉、社会政策) eng
- ●西野史子教授(労働社会学、雇用政策) eng
- ●松永伸太朗講師(労働社会学、労働政策) eng
- ●堂免隆浩教授(都市政策、地域政策 コミュニティ政策) eng

(歴史社会文化研究分野)

- ●石居人也教授(日本史、日本近現代史)
- ●加藤祐介講師(日本史、日本政治史) eng
- ●鈴木直樹講師(日本史、日本近世史) eng
- ●洪郁如教授(アジア史、台湾近現代史 帝国植民統治史、歴史と記憶の研究) zho
- ●佐藤仁史教授(アジア史、中国近世・近現代史 日中関係史) zho
- ●加藤圭木教授(アジア史、朝鮮近現代史 日本の戦争・植民地支配) kor
- ○貴堂嘉之教授(アメリカ史、人種・ジェンダー・エスニシティ研究) eng
- ○牧田義也講師(アメリカ史 グローバルヒストリー) eng
- ○田中亜以子講師(ジェンダー史・セクシュアリティ史) eng
- ●秋山晋吾教授(ヨーロッパ史 東ヨーロッパ地域研究) fra, hun
- ●小西正紘講師(ヨーロッパ史) eng
- ●柏崎正憲講師(社会思想史、経済学史) eng, deu, fra
- ●井頭昌彦教授(哲学・倫理学) eng
- ●吉沢文武准教授(哲学・倫理学) eng
- ●井川ちとせ教授(英語圏文芸思想) eng
- ●寺尾智史教授(言語社会学) eng, spa, por

(超域社会研究分野)

- ●小椋郁馬講師(政治学、政治行動論) eng
- ●田中拓道教授(政治学、比較政治 政治理論) eng, fra
- ●ジョナサン・ルイス教授(政治学、社会情報学 メディア研究) eng
- ●福富満久教授(国際政治学、国際関係論) eng, fra
- ●稲葉哲郎教授(社会心理学、メディア効果研究 世論研究) eng
- ●宮本百合教授(社会心理学、文化心理学) eng
- ●後藤伸彦講師(社会心理学、社会的認知) eng
- ×大杉高司教授(社会/文化人類学) eng
- ●久保明教教授(社会/文化人類学) eng
- ×上田元特任教授(社会地理学、地域・環境と開発) eng
- ●小泉佑介講師(社会地理学、地域研究 人間と環境) eng
- ●小倉拓郎講師(自然地理学、地形学、地理教育) eng
- ●大坪俊通教授(地球科学) eng
- ●大瀧友里奈教授(環境科学、環境配慮行動) eng
- ●赤嶺淳教授(フードスタディーズ 環境と社会) eng
- ●鈴木直文教授(開発研究、スポーツと開発) eng

教員名の横の () は専門分野を示します。指導可能な対象領域を限定するものではありません。
教員名の末尾の言語記号は、日本語以外に個別指導等で補助的に対応可能な言語です。
deu ドイツ語、 eng 英語、 fra フランス語、 hun ハンガリー語、 kor 韓国語、 por ポルトガル語、 spa スペイン語、
swe スウェーデン語、 zho 中国語
なお、この表記は本研究科における講義が表記の言語で履修できることを保証するものではありません。また、修士論文・博士論文は
日本語もしくは英語で執筆するものとされています。

一橋大学大学院社会学研究科修士課程　研究計画書

氏　　名		受験番号	※

以下①～③の手順で記入してください。

①希望する指導教員名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（希望する指導教員を必ず 1 名選んでください（「未定」は不可）。この願書に書かれた指導教員名は口述試験の参考のためのものであり、記入内容によって入学に不利な取扱いをするものではありません。）

②（希望指導教員が担当する）専攻	総合社会科学　　地球社会研究 （いずれか 1 つを○で囲んでください。）
③（希望指導教員が担当する）研究分野	社会学研究　　共生社会研究　　歴史社会文化研究　　超域社会研究 （いずれか 1 つを○で囲んでください。希望指導教員が複数の分野を兼任している場合は、研究題目との適合度を考慮したうえで、どちらかの研究分野を選択してください。）

研 究 題 目	

読解可能な外国語（得意とするものから順に記してください。）

1.　　2.　　3.　　4.

修士課程終了後の進路に関する希望

1. 博士後期課程への進学　　2. 修士課程終了後、実務等に就く　　3. 未定

（上の 1～3 のいずれか 1 つを○で囲んでください。この項目と次の項目は、修士課程での教育内容の改善に資するために聞くものです。1～3 のいずれを選択しても入学に不利な扱いをするものではありません。）

将来の希望

（上の 1～3 のいずれを選択した場合でも、将来の希望についてできるだけ具体的に、400 字以内で記入してください。とくに 2 を選択した人は、どのような職種、職業に就きたいかを具体的に記入してください。）

記入上の注意　※印欄には記入しないこと。

（次頁へ続く）

これまでの勉学について

（これまでの勉学・研究の経過、卒業論文またはそれに代わる学習内容および本研究計画書の研究題目を選ぶにいたった経緯等について、1200 字以内で記入してください。）

（次頁へ続く）

修士課程での研究について

（修士課程では、研究の成果として修士論文を執筆することになります。それにむけて、修士課程において本研究計画書の研究題目をどのように展開するかについて、1200 字以内で記入してください。また、あなたの研究計画にとって重要な参考文献を何点か挙げてください。なお、これは 1200 字には含まれません。）

提出物チェックリスト

修士（春期一般選考）

氏名	受験番号（大学使用欄）

【留意事項】

以下のチェック項目をすべて確認し、チェック欄に✓を入れてください。

チェック項目	チェック欄	大学使用欄
出願書類が、出願期間を過ぎて到着した場合、2027年1月5日以前の消印のあるものに限り受理されることを確認した。	☐	
「演習担当教員一覧」で、希望する指導教員が担当する専攻および研究分野を確認した。 【例】佐藤文香教授を希望する場合→地球社会研究専攻 社会学研究分野	☐	
入学後は希望する指導教員が担当する専攻および研究分野が自身の専攻・研究分野となることを確認した。	☐	
英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語訳を添付する必要があることを確認した。	☐	
「募集要項」に明記されている場合を除き、各種証明書（成績証明書等）は必ず原本を提出する必要があることを確認した。	☐	
複数の大学・大学院を卒業・修了（見込）の場合は、すべての大学・大学院における「卒業・修了（見込）証明書」と「成績証明書」が必要であることを確認した。	☐	

【志願専攻・研究分野】

・希望する指導教員が担当する専攻をマルで囲んでください。

41.総合社会科学専攻　　42.地球社会研究専攻

・希望する指導教員が担当する研究分野をマルで囲んでください。

1.社会学研究　　2.共生社会研究　　3.歴史社会文化研究　　4.超域社会研究

【提出物チェック】

以下、提出書類が不備なく揃っているか確認し、チェック欄に✓を入れてください（任意など該当しないものには✓不要）。

提出者	書類等	部数	摘要	チェック欄	大学使用欄
全員	志願票	3通	WEB出願ページでの出願登録によって作成したもの	☐	
			研究題目、特記事項1～3が研究計画書と同じ内容で正しく入力されている	☐	
			1通ずつホチキス留めしている	☐	
全員	研究計画書	3通	所定の用紙を用い、日本語で作成したもの	☐	
			1通ずつホチキス留めしている	☐	
全員	卒業論文等	2通	・卒業論文を複写したもの ・卒業論文を提出せず、学士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、卒業論文に代わる論文1篇を複写したもの ・卒業論文等の内容と修士課程での研究題目が大きく異なる場合は、卒業論文に加えて日本語または英語で作成した補充論文を提出できる（この場合も2通）	☐	
			製本されていないものは1通ずつ綴じている	☐	
全員	卒業論文等の要旨	3通	・日本語4,000字程度または英語1,600単語程度 ・補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨3通（日本語4,000字程度または英語1,600単語程度）	☐	
			A4判の表紙（任意様式）をつけ、「論文要旨」、論文名および氏名を明記している	☐	
			1通ずつホチキス留めしている	☐	
全員	卒業（見込）証明書等	1通	・「卒業証明書」または「卒業見込証明書」（原本） ※本学卒業者（見込）は、「成績証明書」をもって代える	☐	
外国学校出身者	学位証明書等	1通	・学位を明記した証明書（原本） ※取得見込みの者は卒業見込証明書をもって代える ※中国の大学を卒業した者は、上記のほかに学信網CHSIの学歴認証報告書および学位証明書をダウンロードして印刷したもの	☐	
全員	成績証明書	3通	原本1通、写し2通	☐	
外国人志願者	在留カード等の写し	1通	在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない場合はパスポートの写し	☐	
全員	検定料（30,000円）納入の証明書	1通	・検定料を納入のうえ、「明細書等」または「収納証明書」（A4サイズに満たない場合はA4用紙に貼付） ・銀行振込の場合は社会学研究科検定料口（※下記参照）に振り込んでいるか確認 ・日本政府（文部科学省）奨学金留学生は検定料不要であるため、その旨を証明する所属大学発行の証明書	☐	
全員	提出物チェックリスト	1通	すべての項目を確認し、該当するチェック欄に✓を入れる	☐	

※銀行名：三井住友銀行国立支店　口座番号：（普通預金）7761819
　口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科検定料口

別紙　＜修士春期入試用＞

外国からの出願方法について

①日本在住の代理人に依頼する場合（できる限りこちらの方法をとってください）

日本在住の代理人に、募集要項にしたがって①検定料の振り込み、および②出願書類を一括し出願期間内に必着するように郵送（簡易書留郵便）することを依頼してください。

②本人が直接出願する場合（①の方法がとれない場合のみこちらの方法をとってください）

●検定料の納入はクレジットカード決済で行ないます。

一橋大学ウェブサイト HOME（https://www.hit-u.ac.jp/）から＜一橋大学で学びたい方へ＞にアクセスし、「大学院入試の検定料について」（https://www.hit-u.ac.jp/faculties/graduate/examfee.html）より検定料支払いサイトのリンクをクリックして入力画面に進み、指示にしたがって検定料を納入してください。

出願書類を送付する時には、検定料の納入を済ませ、ウェブ上の納入確認画面をプリントアウトしたものを添付してください。

検定料の納入は出願期間内に行なってください。

●志願者は、募集要項「**６．出願書類・検定料**」にある出願書類を一括し、封筒（送付状等）に「**APPLICATION DOCUMENTS**」と記載して、EMS や DHL 等の記録に残る方法で

Hitotsubashi University, Graduate School of Social Sciences

2-1 Naka, Kunitachi, Tokyo 186-8601, JAPAN

（〒186-8601　東京都国立市中 2 丁目 1 番地　一橋大学大学院社会学研究科事務室）

宛てに送付してください。WEB 出願の「志願者個人ページ」から印刷できる宛名ラベルは、外国から郵送する場合は使用できません。**出願締切は 2027 年 1 月８日 17 時（日本時間）必着です。出願締切以降に受取った出願書類については一切受付けません。**

注 意

※　本人が外国から直接出願する場合には、郵送上のトラブル等本人に責任がない出来事によって手続きが完了しなかったケースでも、出願を受け付けられないことがあります。この点、あらかじめご了承ください。

一橋大学大学院社会学研究科